



オレオレ詐欺被害に遭わないために

最近の特殊詐欺被害のうち、息子さんやお孫さんになりすます「オレオレ詐欺」が約4割を占めています。中でも急増しているのが、息子さんなどが会社の大事な書類やお金などを紛失し、その穴埋めのために「今日中に(直ぐに)お金を用意してほしい」と依頼し、現金を受け取りに来る手口です。犯人がどのようにだましてくるのか典型的な事例とその傾向や犯人の意図などをご紹介します。特殊詐欺被害に遭わないよう犯行の手口を知っておきましょう。

【犯人のだまし文句】

「息子さんが、現在、病院で**ノドの治療(手術)**をしている」
「ノドの癌かもしれません」
「治療後に電話をさせる」

「**カバン、書類、財布をなくした(盗まれた)**、中に大切な書類、現金、小切手が入っていた」

「直ぐにお金を用意しないと、会社に迷惑が掛かってしまう」
「上司が工面しようとお金をかき集めているので、自分も用意しなければならない(用意してほしい)」

自分がお金を取りに行けなくなった
●途中で、吐血して病院に運ばれた
●途中で、なくした(盗まれた)カバンや書類などが別の場所で発見となったのでそちらに向かうことになった

上司の息子や弟、甥っ子、信用のできる知人などが、**代わりに被害者方に現金を預かりに向かう**ことを伝えてくる

【傾向・意図】

○病院(医者)からの架電が大多数
○親や祖父母(被害者)の不安をあおり、疑う余地を与えない
○**ノドの治療**ということで**声が違う**という**不自然さをなくす**

○病院からの電話であれば「病院(のトイレ)でなくした」が大多数

○職を失ったり、職場における自分の立場が危うくなると思わせる

被害者が現金を用意

○至急の事態となったので、急きょ**代役**を被害者のところに向かわせて、その者に現金などを渡すことを承知させる

○代役で現金などを受け取りに来た者と息子や上司になりすました者が被害者の目の前で電話をして不信感をなくす

犯人は、皆さんの息子さんやお孫さんが大変な局面にいると訴え、皆さんを慌てさせて「だまされているのでは？」などと考えさせずにお金やキャッシュカードをだまし取ろうとしています。少しでも「本当なの？」と思ったら、電話を切って警察に相談してください。

太字の部分の言葉や話が出たら**詐欺**です！

★被害に遭わないために★

- あらかじめ家族で合い言葉を決めておき、電話がかかってきたら確認する。
- 一旦、電話を切って、元々知っている息子(孫)の電話番号に連絡して事実を確認する。
- 現金やキャッシュカードは知らない者には渡さない。

詐欺かもしれないと思ったら、すぐにこちらまでご相談ください

群馬県警察振り込め詐欺被害防止ホットライン Tel 027-224-5454